

現在
2008の
京阪名



繩文大海進



古墳以前 3世紀
弥生頃の 京阪名

水際で細々と水耕稲
作が行われる。

河内湾 である



高句麗の成立の頃

古墳時代

4世紀
～6世紀

河内湾が土砂の堆積で締め切られ
河内湖となる

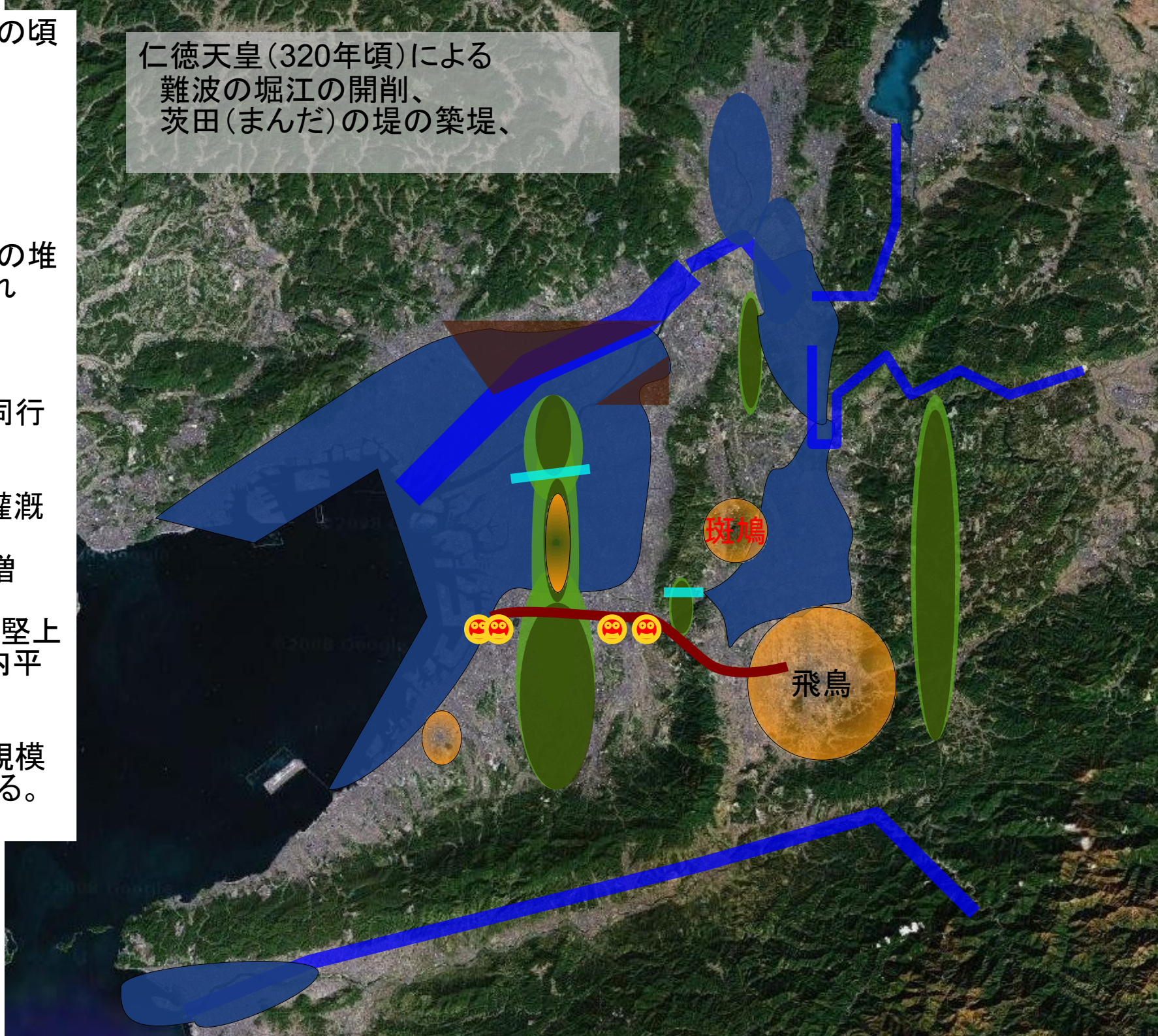
没落貴族に同行した技術者が、

飛鳥丘陵で灌漑農法を実施。
米生産量激増

また、王子＝堅上間を開削。河内平野に水を抜く

海岸線に大規模古墳が築かれる。

仁徳天皇(320年頃)による
難波の堀江の開削、
茨田(まんだ)の堤の築堤、



飛鳥時代
奈良時代

7世紀
～8世紀

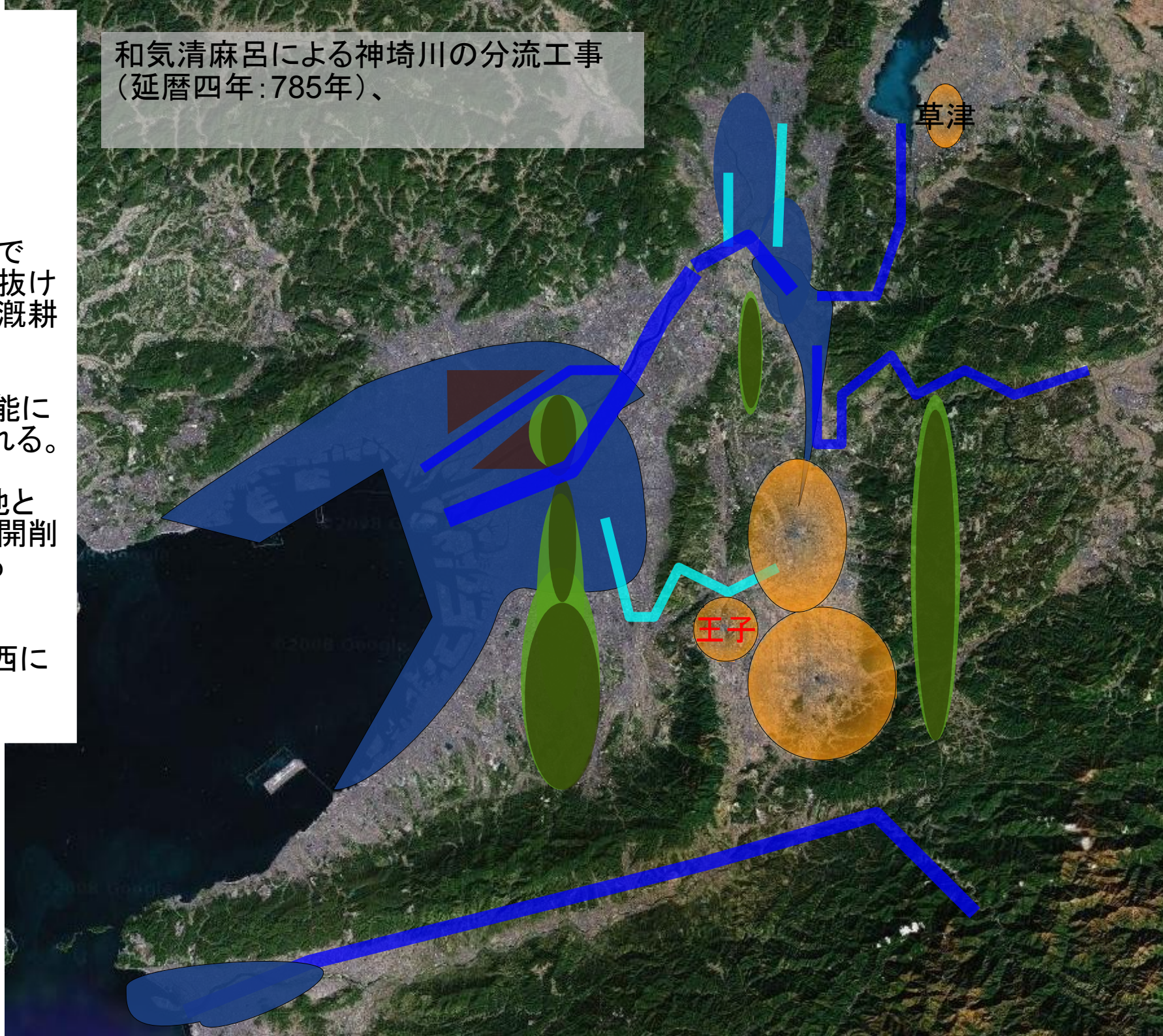
大和川の成立で
奈良池の水が抜け
奈良盆地在り灌漑耕
作可能になる。

下水排水も可能に
なり都が置かれる。

また上町大地と
東淀川江口が開削
され運河となる

京都側にも東西に
排水路を造成

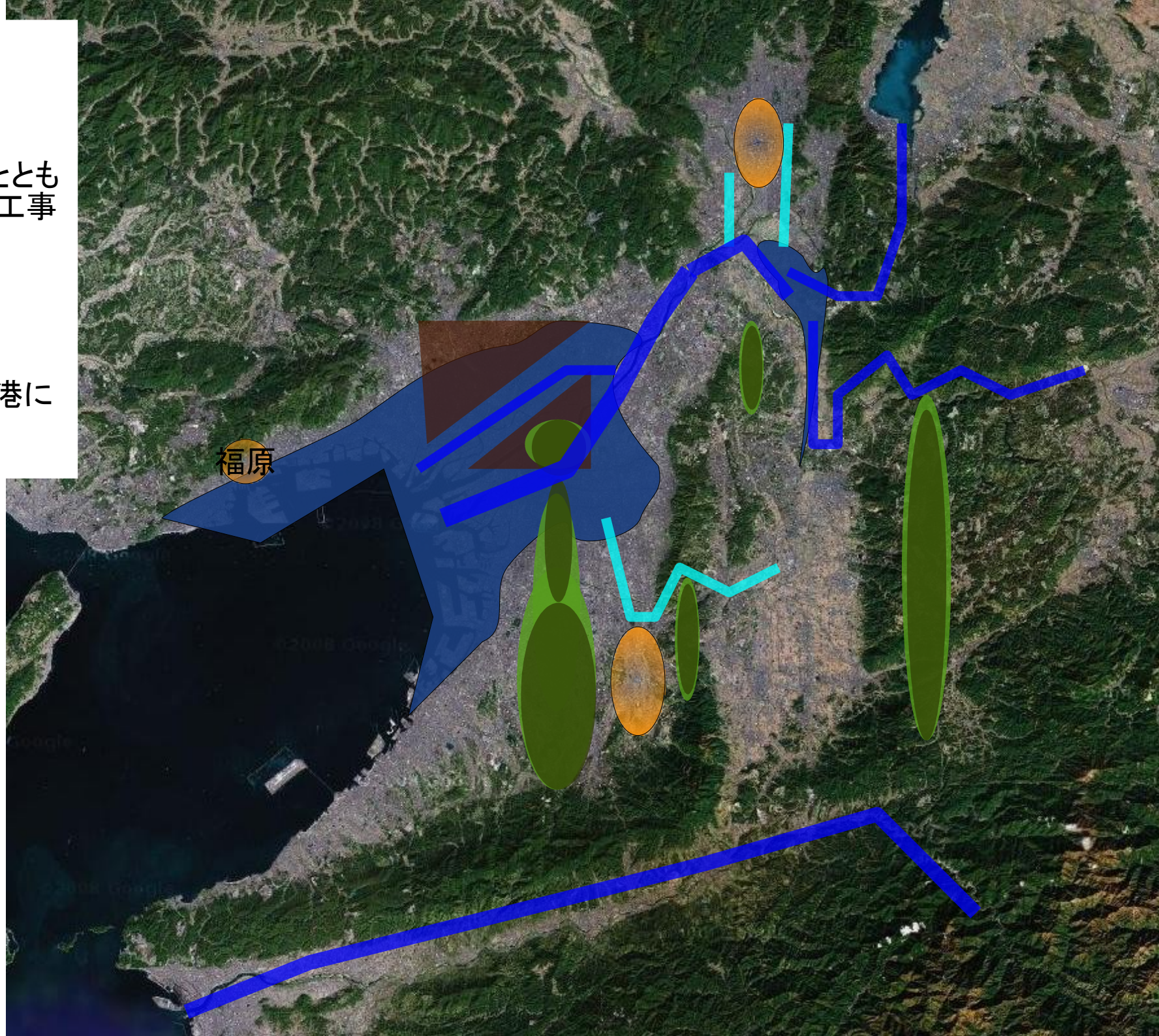
和気清麻呂による神埼川の分流工事
(延暦四年:785年)、



平安時代
8世紀
～11世紀

生産の安定とともに
近畿の土木工事は
停滞する。

福原宮を兵庫港に
築造



鎌倉＝南北朝＝室町

12世紀＝13世紀

河内平野の形成が土砂の堆積により一気に進む。楠正成＞河内川＝大和川の水を一刻も早く排水するため江口の津・と大坂の前を築堤。淀川と大和川を分離

小椋池が淀川・木津川合流点が氾濫源となる。新たに淀池が出来る。

と共に河川土木工事が行われる。＜農業収入が土木作業費に＞

南北朝の対立により、飛鳥＝吉野が再び勃興



戦国
安土・桃山
15から17世紀

堺衆 出島を作る

戦国時代は金が無いので 基本土木工事停滞

豊臣秀吉

淀池小椋池大改修
大阪城までの淀川舟運が確定

淀川 河口部に佃島等が出来始める。

大和川東進計画着手

豊臣秀吉による
太閤堤(文禄三年:1594年)や
文禄堤(文禄五年:1596年)の築堤、
三川合流部の改修



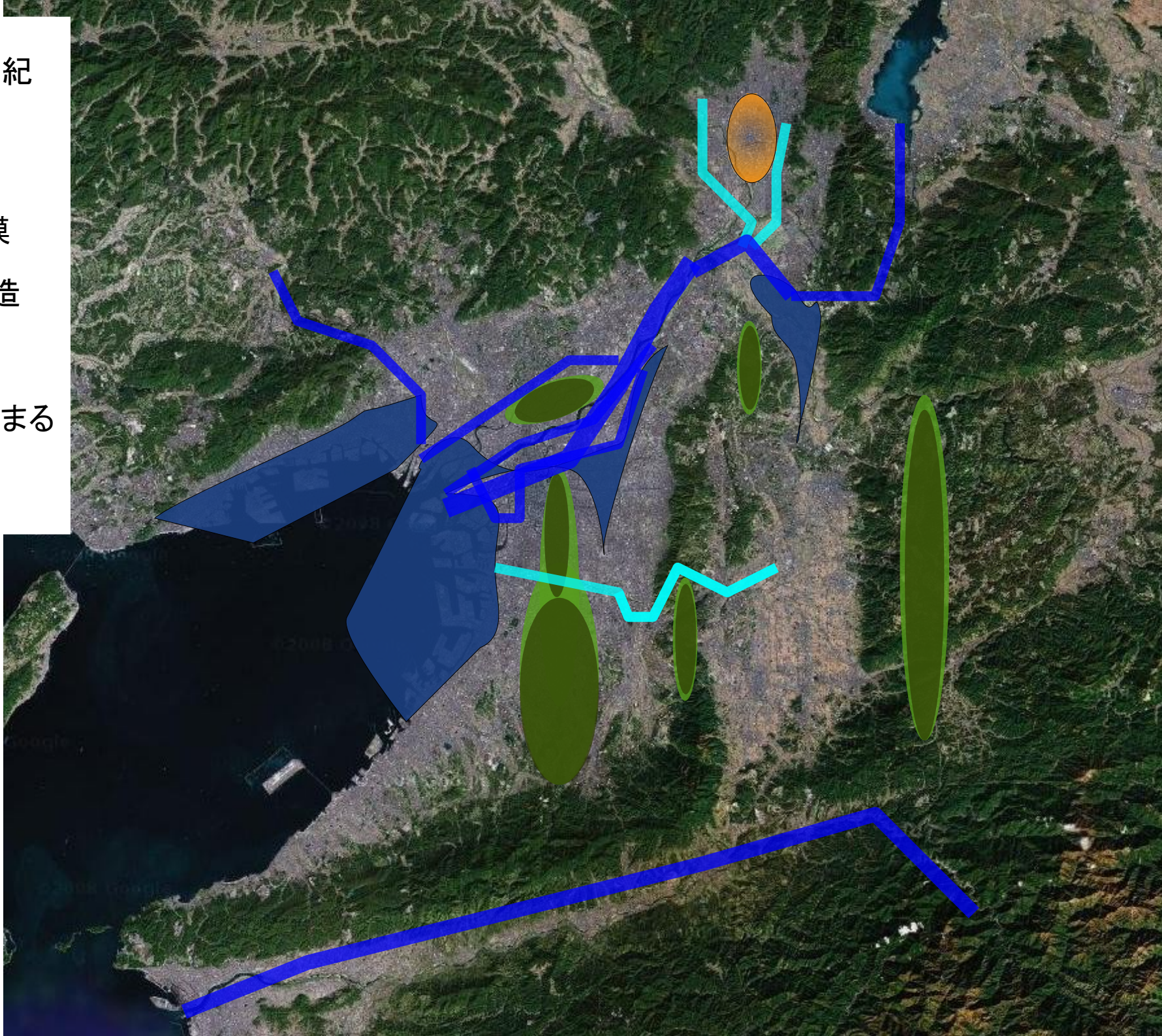
江戸
17世紀-19世紀

東西横堀
道頓堀開通

浪速津大規模
浚渫
天保山 築造

大和川 開通

堺出島港 埋まる



明治

デーレケの
淀川大改修

